

めざす教師像

生徒が主体的に学び、自己実現できる教育をつくる

- ①自分の考えや学び方を振り返り、アップデートを続ける教師
- ②創造的な着想や工夫をして、新しいことに挑戦する教師
- ③意思疎通により多様な考えの合意を図り、協働する教師
- ④生徒の自己決定の重要性を理解し、教育活動で実践する教師

令和6年度 乙部町立乙部中学校 グランドデザイン

学校教育目標

『生きる力を持ち 明日の郷土を担う 心豊かな生徒の育成』

めざす生徒像

- ①自ら学び、考え、判断して行動する生徒（自立、主体性）
- ②自己を見つめ、自分を高める工夫をする生徒（向上）
- ③他と共に生き、自分のよさを発揮する生徒（共生）
- ④健康なからだをもち、感動を素直に表現する生徒（人間性）
- ⑤社会の一員としての自覚をもち、郷土を愛する生徒（社会性）

学校経営の具体的実践事項

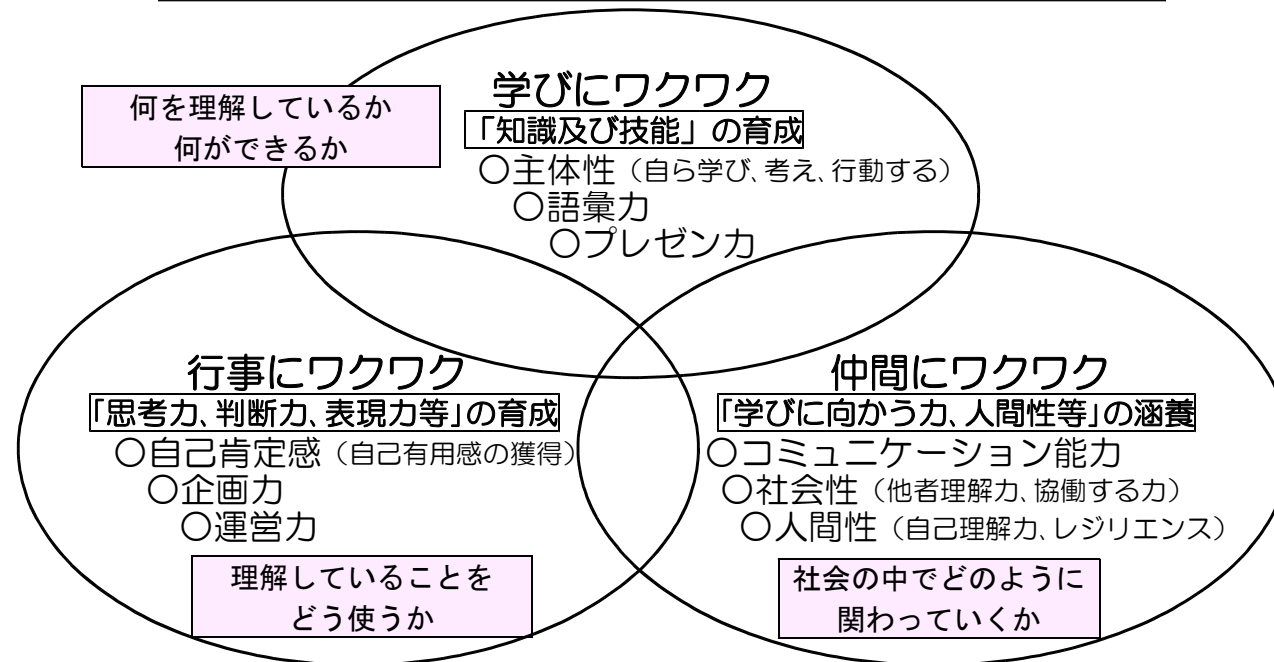
- ①生徒が通いたくなる学校
- ②保護者が通わせたい学校
- ③教職員が勤務したくなる学校
- ④地域に信頼され大切にされる学校

- ①SDGs具現化に向けた、ESDを意識した実践
- ②数学科と英語科のチーム・ティーチング実施
- ③個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ④ICT環境の有効活用による教育DXの推進で、学習や校務の方法を変革して新たな価値を創造する
- ⑤各種校内研修推進による専門性と指導力の向上
 - 実情やニーズを踏まえた職員研修（年8回）
- ⑥現状に満足せずに学び・向上し続ける姿勢による、ボトムアップ・ミドルアップの組織マネジメント
 - 円滑な意思疎通による、多様な考えの合意形成
 - 心理的安全性の構築
 - OJTによる人材育成
- ⑦スクールコンプライアンスの確立
 - 体罰、飲酒運転等の不祥事根絶
 - 接遇能力向上
- ⑧学校における働き方改革の実現
 - 「働きやすさ」と「働きがい」の両立
 - 北海道アクションプラン重点事項の具現化
 - コアチームによるボトムアップ型の改革
- ⑨生徒と教員の心身の健康、生活バランスに配慮した持続可能な部活動（道・檜山、乙部中学校のガイドラインに則って）
 - 生徒の主体性や創造性の伸長、不適切指導の禁止
 - 週あたり2（平日1、土日1）日以上の休養日
 - 平日部活動終了、下校時刻は通年17：25
 - 地域移行を視野に入れた今後の在り方の検討
- ⑩小中連携の推進（中1ギャップ予防）
 - 英語科乗り入れ授業
 - 入学説明会
- ⑪家庭、地域との連携と協働（地域とともにある学校）
 - 学校公式サイトでの積極的情報発信
 - 学校運営協議会を核とした地域学校協働活動推進（乙部町立学校コミュニティ・スクール設立）
 - PTA活動の改善（ニーズ対応と効率化の両立）

本年度重点教育目標

『ワクワクを創る』 学びにワクワク 行事にワクワク 仲間にワクワク

2030年に向け 育成を目指す資質・能力



検証のための評価項目（学校評価や全国学調ほか）

- ①生徒
 - 「学校は楽しく充実している」100%
 - 「いじめの心配のない学校生活ができている」100%
 - 「授業はわかりやすい」90%以上
 - 「家で自分で計画を立てて勉強する」80%以上
 - 「家庭学習時間1時間以上」90%以上
 - 「将来の夢や目標を持っている」90%以上
 - 「全国学力・学習状況調査」結果が全国比100%以上
- ②職員
 - 「育成を目指す資質能力を明確にした教育活動推進」100%
 - 「ICTの効果的活用による授業実践」100%
 - 「授業での個別最適な学び・協働的な学びの推進」100%
 - 「家庭学習の習慣化の取組推進」100%
 - 「働き方改革：時間外在校等時間月45時間以内」100%
 - 「自己肯定感を育む特別活動の推進」100%
 - 「教育公務員としての自覚と服務規律の保持」100%
- ③保護者
 - 「子供は安心して学校に通っている」100%
 - 「学校はいじめ防止の手立てや対応をしている」90%以上
 - 「子供は授業がわかると思っている」90%以上

乙部町立乙部中学校

〒043-0103

北海道爾志郡乙部町字緑町139番地2

TEL：0139-62-2350

FAX：0139-62-3685



URL：https://otobe-jhs.edumap.jp

E-mail：otobejp@educet.plala.or.jp

教育活動・指導の具体的実践事項

- ①生徒が主体的に学ぶ授業へのアップデート
 - 1人1台端末の有効な活用（授業、持ち帰り）
 - ・授業支援システム活用で生徒の学び方を変える
 - ・オンラインデジタルドリル活用で個別進捗学習推進
 - 学習形態の多様化で、協働的な学びの具現化
- ②家庭学習との連続した学びを意識した授業デザイン
- ③デジタル・シティズンシップ（デジタル社会への主体的参画）を踏まえた情報活用能力の育成
 - 各教科・学級での日常指導、道徳科での授業実施
 - 情報モラル教育（スマホ安全教室ほか）推進
 - 生成AIと教育の「上手なつきあい方」を検討
- ④自己存在感と自己決定の場を与え、共感的な人間関係と安全・安心な風土を育む生徒指導の充実
 - 多様性に配慮し、均質化のみに走らない指導
 - 生徒一人一人が尊重される学級経営
 - コミュニケーション力、他者理解力の向上
 - 「生活の心得」の合理的な見直し継続
- ⑤いじめ・不登校・問題行動への重層的支援
 - 未然防止そして早期発見、早期対応の継続
- ⑥命を守り、命の尊さを学ぶ健康安全指導
 - 思春期講話
 - 妊婦体験
 - 薬物乱用防止教室
 - 防犯教室
 - 実践的避難訓練
 - 1日防災学校
- ⑦基本的生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の定着
- ⑧教育活動全体での、道徳性を養う道徳教育
 - 学年団の協働と分担による道徳科授業
 - 外部講師による道徳科授業（全校道徳講話）
- ⑨仲間と協力し、互いの良さを発揮しながら課題を解決し、成就感・自己有用感を育む特別活動
 - 体育祭・光濤祭、1年遠足・2年宿研・3年修旅
 - 生徒会活動での主体的活動場面の拡充
- ⑩乙部の歴史や文化・自然等を学び、各教科で学んだことを活用・発揮する総合的な学習の時間
 - 漁業体験学習（ナマコ養殖・ウニ漁・イカ捌き）
 - 体育祭や光濤祭での地域芸能学習（太鼓など）
- ⑪インクルーシブ教育の理念実現をめざした、全校生徒が多様性を認め、共に学ぶ特別支援教育
- ⑫社会的・職業的自立に向けたキャリア教育
 - 進路説明会、三者面談
 - 計画的進路指導推進
 - キャリア・パスポート活用
 - 職場体験学習ほか